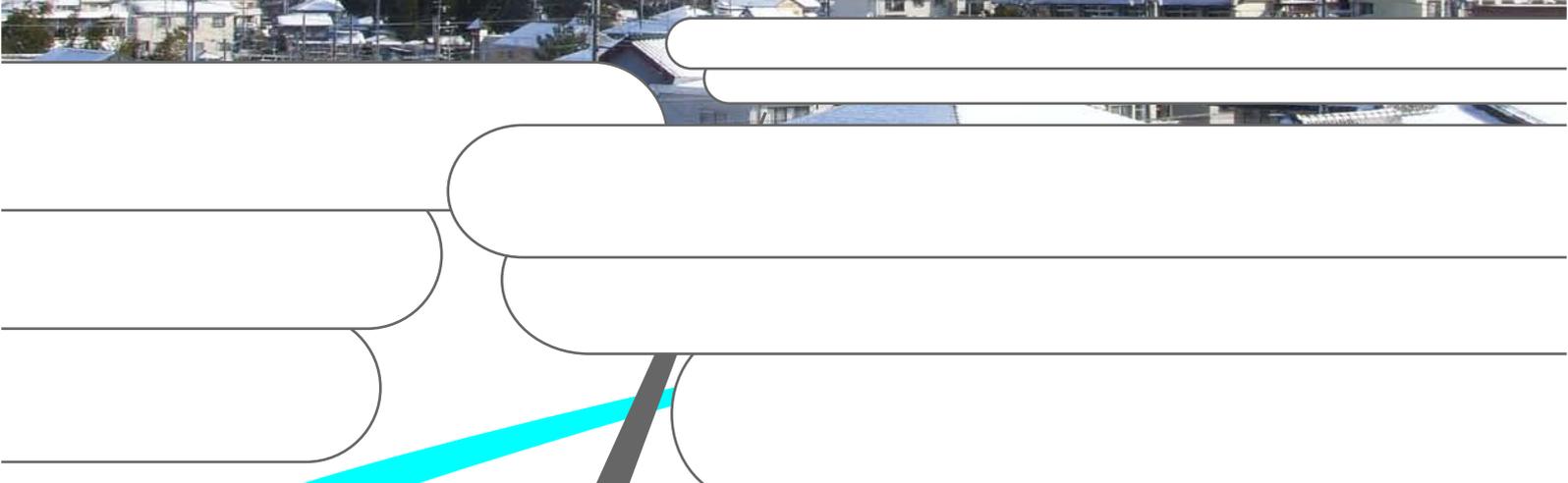




晴雲寺址



朝

倉

川

多

米

街

道

豊橋市多米町

晴雲寺址

遺跡発掘調査地元説明会資料
平成23年(2011)2月11日


吉田城

調査主体:公益財団 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

調査支援:株式会社ユニオン

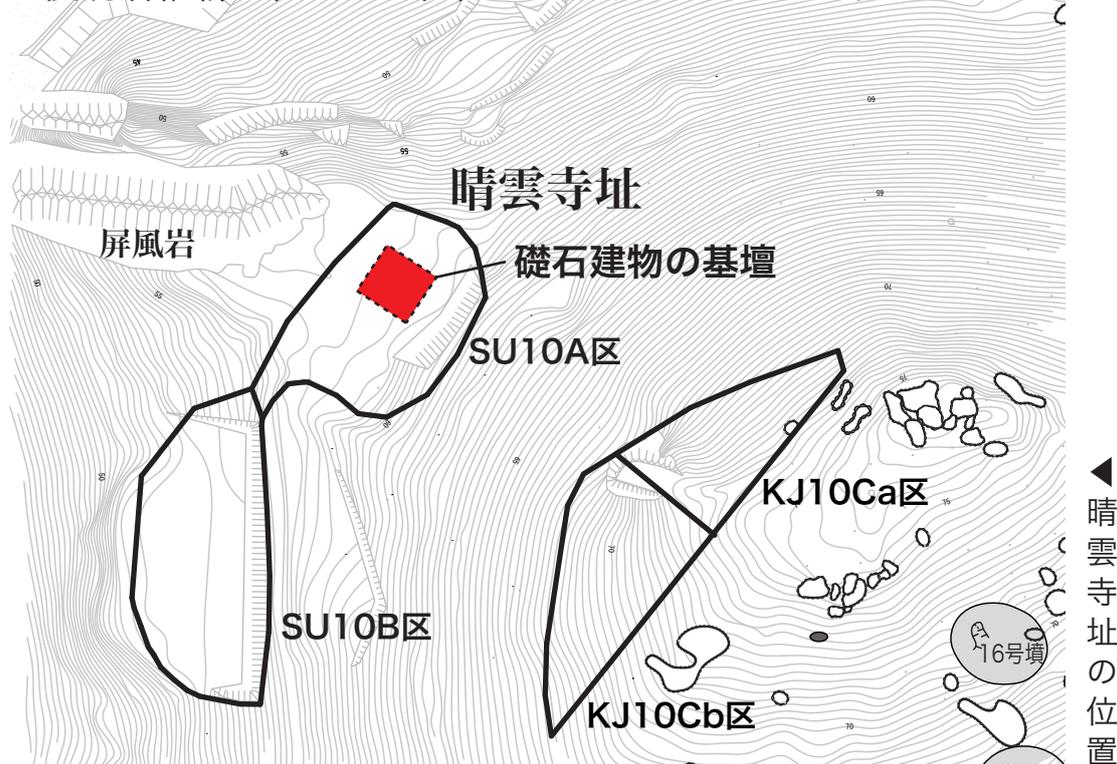
晴雲寺址の位置と遺構

『八名郡誌』（大正5年）および『多米郷土誌』（昭和42年）によると、石巻村大字多米（屏風岩）に廃寺（現在は失われた寺、その遺跡）があると記されています。その廃寺は「屏風山晴雲寺」と伝えられ、境内が南北207間（約370m）、東西135間（約240m）あったとされています。

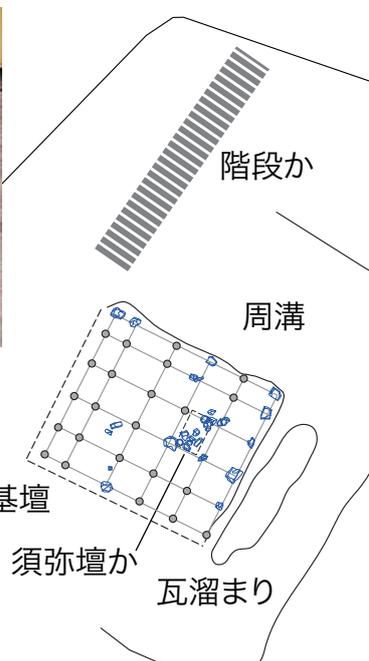
また他の宝暦9年（1759）の間数録にはそこに観音堂があったことも記されています。

この寺は江戸時代中期、宝永年間（18世紀初め）に吉田藩主となった牧野氏が菩提寺として建てたものなのです。牧野氏が吉田藩を去った後は、無住の寺として多米村によって管理されていたようです。

その後明治維新を経てその位置もよくわからないままになっていました。



階段状遺構



基壇と礎石

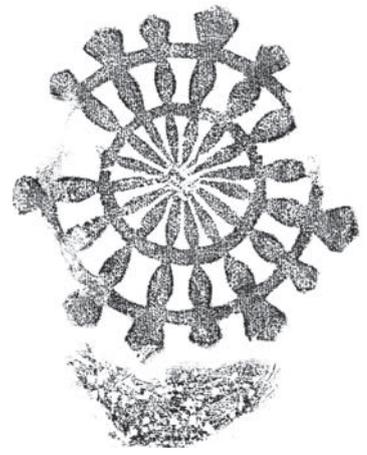
古墳の周溝を埋め立て

晴雲寺址の主な遺構配置

晴雲寺址の出土遺物 瓦

晴雲寺址からは多数の瓦が出土しました。瓦はお堂の屋根を飾ります。本瓦葺きであったこともわかりました。輪宝文の棟端瓦(棟の端を飾る瓦:鬼瓦)や、雁振瓦(屋根の対角線にあたる降棟を飾る瓦)も出土しました。

軒平瓦は多くみられるのですが、軒丸瓦はごくわずかです。再利用するために持ち去ったのかもしれませんが。



輪宝文の棟端瓦(拓本)



軒丸瓦



軒平瓦



軒平瓦の拓本と実測図(1/3)

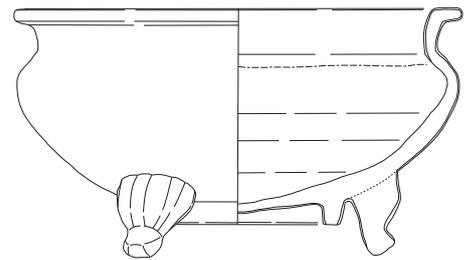


多米東町・歎喜院観音堂の棟端瓦(ここも輪宝文)

晴雲寺址の出土遺物 陶磁器

晴雲寺址から出土した陶磁器は、陶器の碗や土師器の皿・鍋が多いですが、お堂で使用されたと考えられる仏具も出土しました。青磁の香炉は3つの獣脚を貼付けたものです。仏飯器はその名のとおりお供えのご飯をいれるものです。

墨書のある陶器もあります。「竹・・・」でしょうか？



青磁の鉢実測図(1/3)



墨書のある陶器



仏飯器

晴雲寺の歴史年表

年号	晴雲寺に関すること	豊橋（吉田藩）に関すること	江戸幕府に関すること
天正18年 (1590年)		池田輝政が吉田城主になる	
	 <p>大恩寺・山門(1672年建立)</p>		1600 関ヶ原の戦い 1603 徳川家康が 征夷大将軍になる 1614 大坂冬の陣 1615 大坂夏の陣
元和8年 (1622年)		吉田城本丸御殿完成	
宝永2年 (1705年)		牧野成春が吉田藩主になる	
宝永4年 (1707年)	<p>11月 牧野氏、多米村屏風岩山に菩提寺・観音堂をつくるために、御津大恩寺に、壊れていた平尾村（現在豊川市）の晴雲寺を移すことを求める 「今度吉田於多米村屏風岩山観音堂致造立候付、（中略）晴雲寺を多米村江移候様こと（後略）」 （『大恩寺史料』 御津町史史料篇）</p>	<p>3月 牧野成春 病没 5月 牧野成央 家督相続</p> <p>10月4日 宝永大地震 吉田の全戸が被害 倒壊323戸、半壊・破損686戸 吉田城本丸御殿倒壊</p>	5代将軍：徳川綱吉
宝永5年 (1705年)	<p>春に晴雲寺造立か</p> <p>7月 牧野氏、晴雲寺境内地を寄進 境内は東西135間・南北207間 「是より東西南北晴雲寺境内を限り吉田領の叢松葉下草等伐採すべからず。」 （『八名郡誌』）</p>		
正徳2年 (1712年)		<p>牧野成央、日向に転封 吉田藩主：松平信祝</p>	6代将軍：徳川家宣
正徳3年 (1713年)	新たに境内地寄進されたか。（『八名郡誌』）		7代将軍：徳川家継
享保18年 (1733年)	<p>晴雲寺に庫裏をつくる。このころは多米村が管理する寺となっていたか。 多米村晴雲寺差出一札 「晴雲寺庫裏作事之義客殿と申違御本寺江御届不申上、吉田御役所へ願上候ニ付、御吟味之上無念之段、委細被仰聞御尤至極奉存候、（後略）」 （『大恩寺史料』 御津町史史料編）</p>	吉田藩主：松平資訓	8代将軍：徳川吉宗 1716 享保の改革
寛延3年 (1750年)	<p>無住の寺になっていた。 多米村差出帳 「（前略）一 寺々ヶ寺 浄土宗 屏風山晴雲寺 無住」 （『多米区有文書』 豊橋市史第7巻）</p>	吉田藩主：松平信復	9代将軍：徳川家重
宝暦2年 (1752年)		藩校 時習館創設	
宝暦9年 (1759年)	<p>境内地は東西198間、南北282間。観音堂は2間半×3間。 間数録 「浄土宗 屏風山晴雲寺 御津大恩寺支配」 （『多米郷土誌』） ※ 元文3(1738)年に写されたとされる『三州吉田領神社仏閣記』に記述あり。</p>		
明治以降	<p>廃寺となった？ 本尊は東田太蓮寺に移したとの言い伝え 手水鉢は歓喜院に移したとの言い伝え （『多米郷土誌』）</p>		歓喜院境内の手水鉢(晴雲寺から?)